

朝の館内放送

平成30年11月5日
スピーカー 市長

みなさん、おはようございます。
市長の中村健です。

今年、西尾市では3つの台風が接近しました。
災害対策本部での指示の出し方、避難所での運営の仕方、情報の伝達方法等、反省点もたくさんあったことと思います。

実際の災害対応に当たって初めて分かることがあるのも事実ですが、日頃からどれだけ実践的な訓練を行い、どれだけ自分の頭で災害時の状況をイメージし、考えているかということも重要です。

本日は、この後午前9時から、17万市民まるごと総合防災訓練が始まります。

その年、その年において、決められたミッションをぬかりなく行うと同時に、このような機会だからこそ、色々な場面を想定し、家庭人として、地域に住まう住民として、市の職員として、大災害時に自分がどのように立ち振る舞うべきか、よく考えてもらいたいと思います。

それに加え、各々役割が決められている中で、それぞれの主体がどのように繋がるのか、どのような気持ちでいるのかということにも考えを馳せることができれば、いざという時にも率先して機能的に行動できるのではないのでしょうか。

マニュアルを作り、事前に決めごとをしておくことは、とても重要です。
しかし、マニュアルに従って動くだけでは、大災害時の対応としては十分とはいえません。

南海トラフ大地震が発生した場合、西尾市では大きな被害が想定されています。また、近年では、台風や豪雨によって大きな被害が出ている地域も増えています。

西尾市では、危機管理局という災害への対策・対応を考える部署がありますが、決して危機管理局だけが考えればよいことではありません。

職員一人ひとりが西尾市民の生命と財産を守るんだという強い決意のもとで、防災・減災対策を進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。